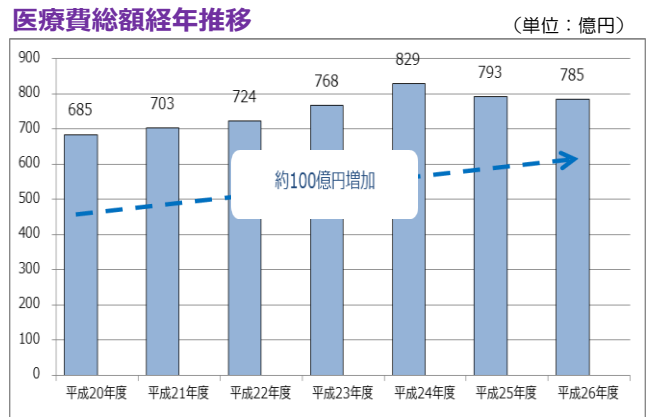
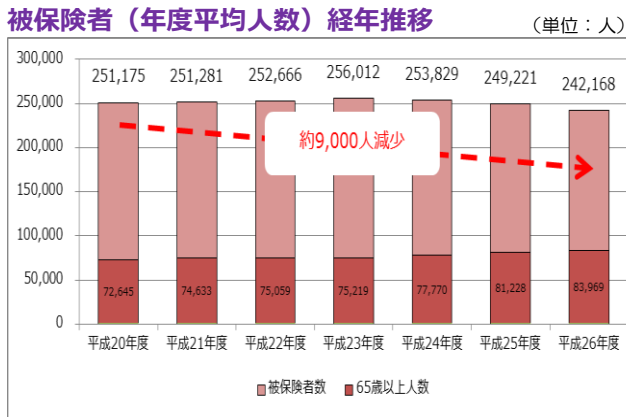


仙台市国民健康保険 保健事業計画（データヘルス計画）

【概要版】 平成 28～29 年度

仙台市国民健康保険の状況

平成 26 年度の被保険者数は、平成 20 年度に比べて約 9,000 人減少しています。一方で、65 歳以上の人数は年々増加しており、平成 26 年度の医療費は、平成 20 年度に比べて、約 100 億円増加しています。



出典：国民健康保険事業年報

出典：国民健康保険事業年報

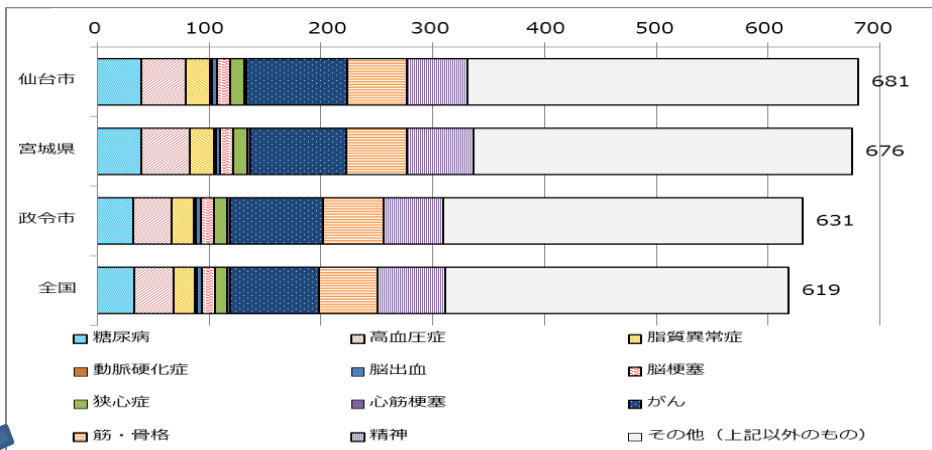
※平成 24 年度の医療費総額の急激な増加は、平成 23 年 3 月の東日本大震災の影響が考えられます。東日本大震災に係る医療費の一部負担金免除措置について、平成 22 年度（平成 23 年 3 月 11 日）から平成 24 年度末にかけ実施後、平成 25 年度は終了し、平成 26 年度は一定条件下の対象者に対して再開しました。

医療費と疾病状況の現状



疾病別標準化医療費 宮城県・政令市・全国比較（平成 26 年度）

(単位：億円)

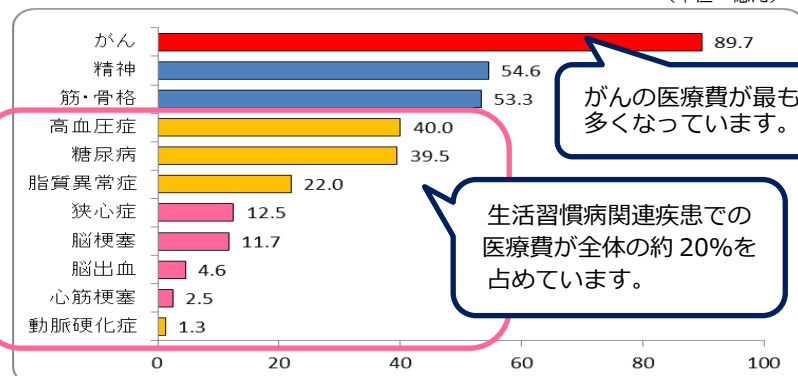


出典：国保データベース及び平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金ツールを活用し算出

本市の医療費を標準化医療費（年齢構成の違いを考慮し、比較対象を本市と同じ年齢構成だった場合を仮定して算出した医療費）を用いて宮城県、政令市、全国と比べてみると、医療費の総額は、宮城県や政令市、全国よりも高く、疾病別でも、政令市や全国と比べて、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、がんといったほとんどの疾病で医療費が高くなっています。

本市の疾病別医療費（その他を除く。）を詳しくみると・・・

(単位：億円)



がんの医療費が最も多くなっています。

生活習慣病関連疾患での医療費が全体の約 20%を占めています。

一人当たり医療費をみてみると・・・

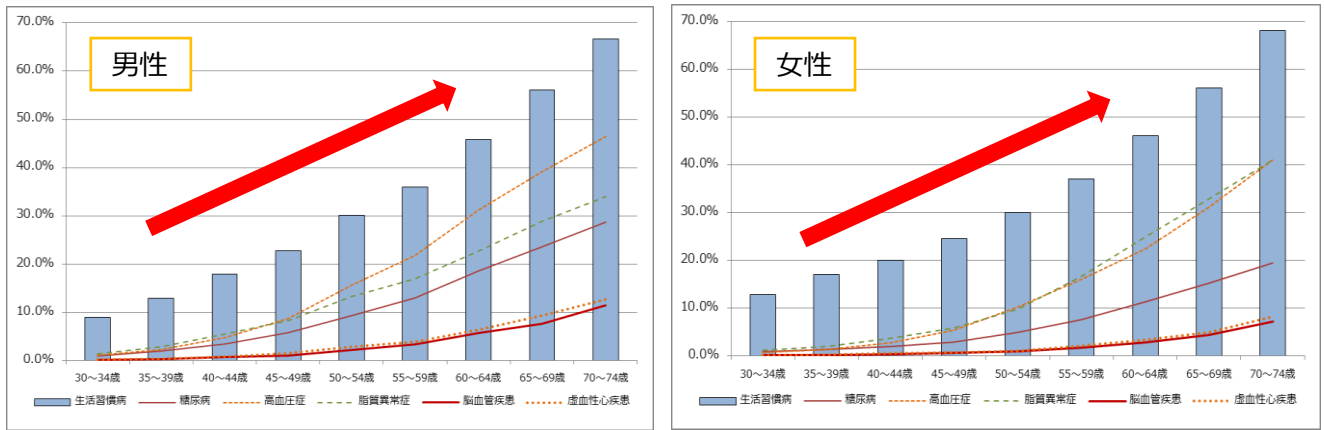
平成 26 年度	一人当たり医療費 (円)	
	男性	女性
慢性腎不全 (透析あり)	5,400,310	5,258,796
糖尿病	409,112	259,303
高血圧症	444,517	304,159
脂質異常症	290,380	203,988

出典：本市作成

慢性腎不全（透析あり）の一人当たり医療費は、約 500 万円と受診者一人につき高額な医療費がかかっていることがわかります。

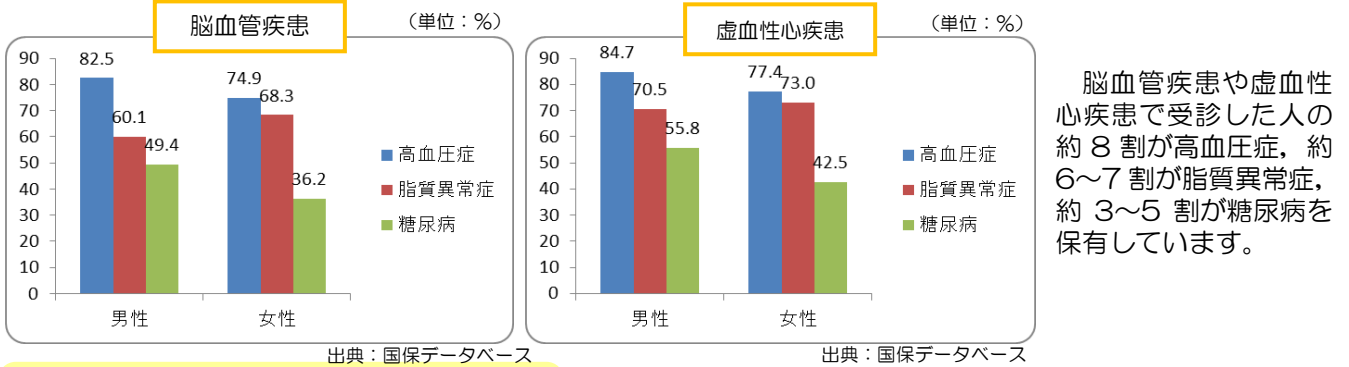
生活習慣病の受診者の現状

被保険者数に対する生活習慣病関連疾患受診者数の割合（平成 27 年 5 月診療分）



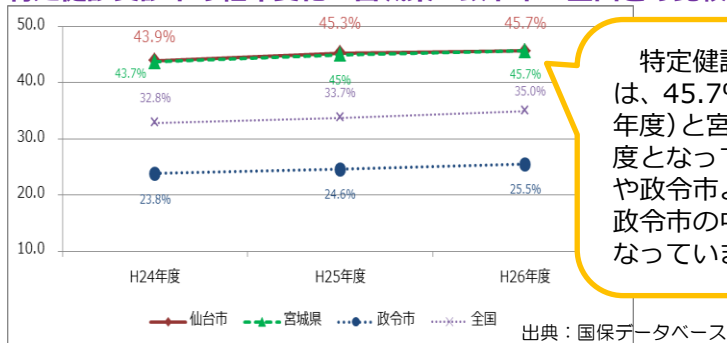
男女ともに、生活習慣病受診者は年齢階層が上がるにつれて増加傾向にあり、60 歳代半ばでは約半数に達します。男性は、高血圧症の受診者が最も多く、女性は、高血圧症に加え、脂質異常症が多くなっています。また、女性より男性の方が、脳血管疾患、虚血性心疾患といった重症化した疾患の受診者数が多い傾向にあります。

脳血管疾患、虚血性心疾患で受診した人の基礎疾患保有割合（平成 27 年 5 月診療分）



特定健診の現状

特定健診受診率の経年変化 宮城県・政令市・全国との比較

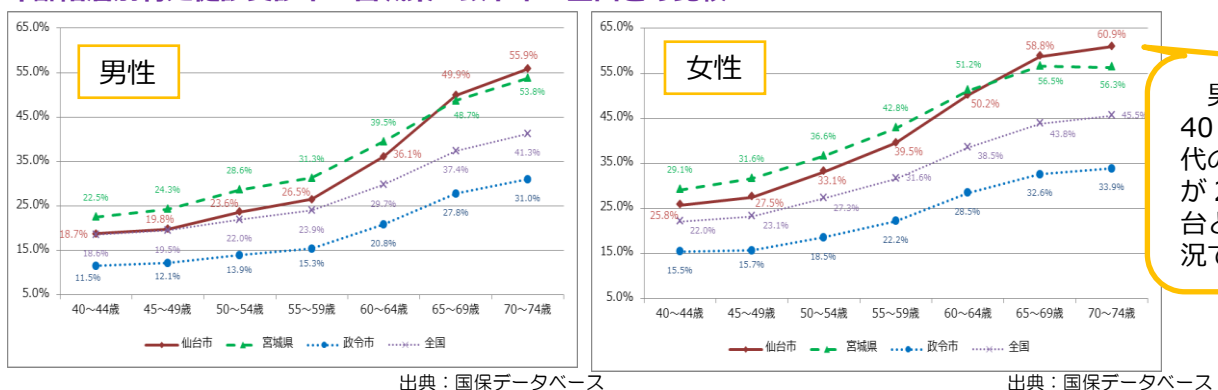


特定健診の受診率は、45.7%（平成 26 年度）と宮城県と同程度となっており、全国や政令市よりも高く、政令市の中で 1 位となっています。

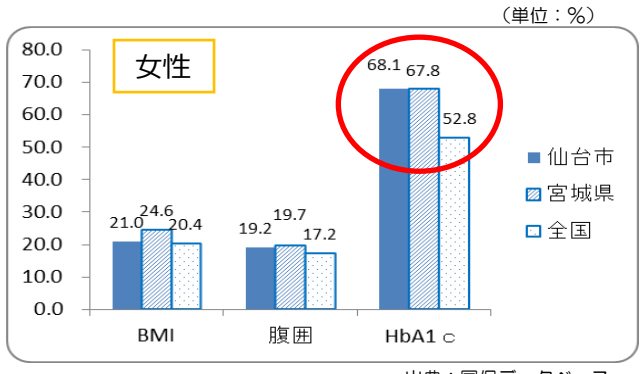
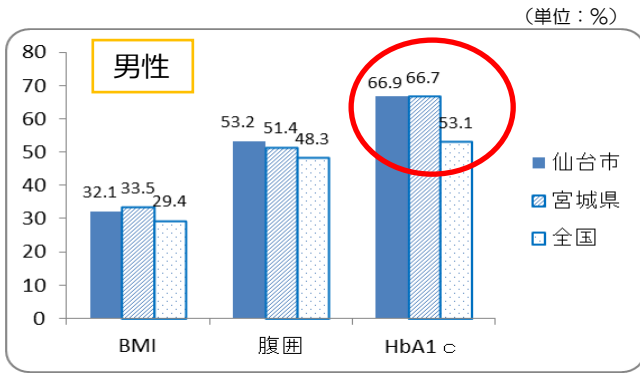
平成 26 年度特定健診未受診者の約半数は、生活習慣病で医療機関を受診していないため、生活習慣病の状況がわからない状態です。

健診未受診者 70,996 人
 受診あり 33,009 人 (46.5%)
 受診なし 37,987 人 (53.5%)

年齢階層別特定健診受診率 宮城県・政令市・全国との比較



健診有所見者の状況 宮城県・全国との比較（平成 26 年度）

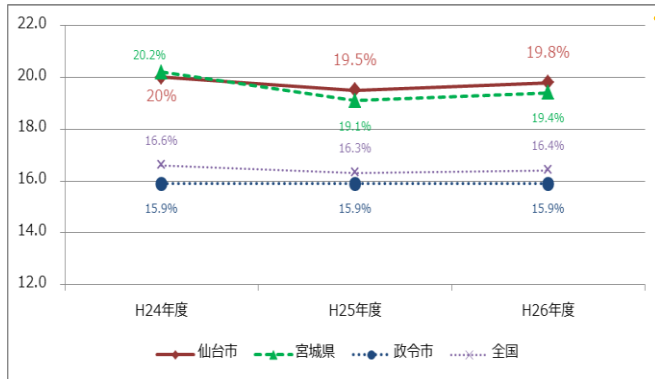


出典：国保データベース

出典：国保データベース

男女ともに、BMI、腹囲、HbA1c の有所見者の割合が全国より高くなっています。特に、HbA1c の有所見者の割合は、全国と比べ 10%以上高くなっています。

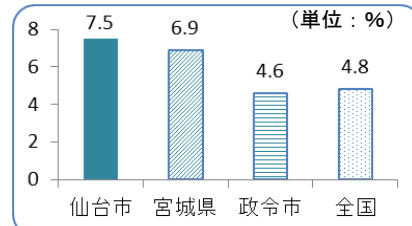
メタボリックシンドローム該当者の経年変化 宮城県・政令市・全国との比較



出典：国保データベース

メタボリックシンドローム該当者は、19.8%（平成 26 年度）と宮城県とほぼ同程度となっており、全国や政令市と比べ高い状況です。

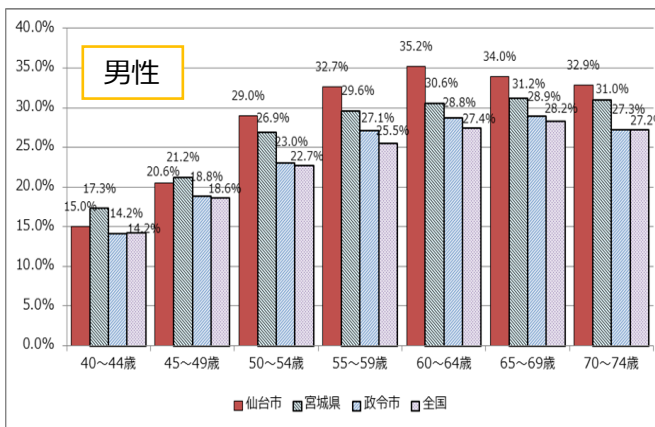
メタボリックシンドローム基準該当者のうち、血糖・血圧・脂質がすべて基準に該当する者の割合



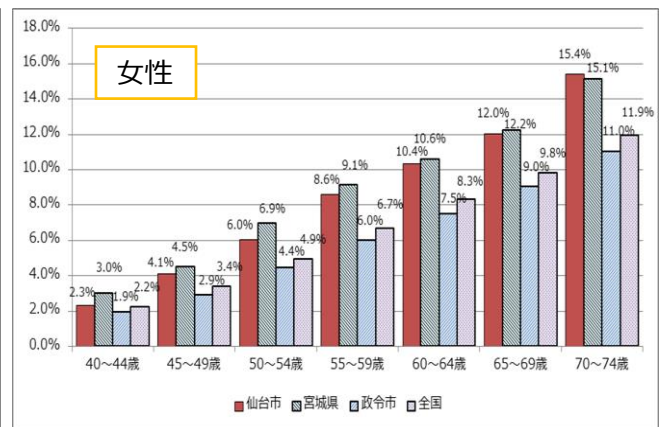
出典：国保データベース

血糖・血圧・脂質すべてが基準に該当する者の割合も、宮城県や政令市、全国と比べ高い状況です。

年齢階層別メタボリックシンドローム該当者 宮城県・政令市・全国との比較（平成 26 年度分）



出典：国保データベース



出典：国保データベース

年齢、性別のメタボリックシンドローム該当者割合をみると、男性では、年齢と共に増加して 60~64 歳でピークを向かえ、その後減少します。50 歳代で急増していることがわかります。

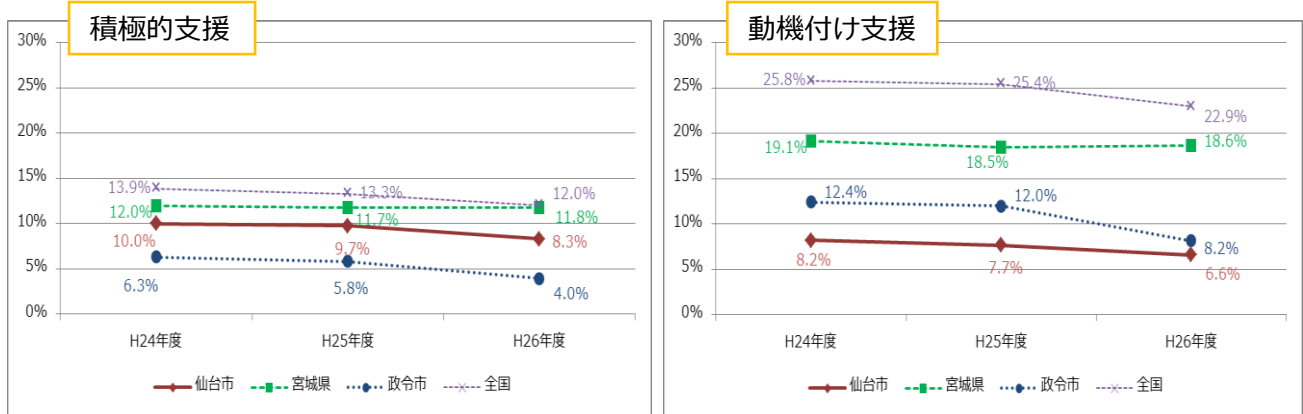
女性では、年齢と共に右肩上がりに増加し、70~74 歳でピークとなります。

男女とも 40 歳から年齢階層が上がるにつれて、メタボリックシンドローム該当者の増加割合が宮城県や政令市、全国よりも大きくなる傾向にあることがわかります。



特定保健指導の現状

積極的支援・動機付け支援終了率の経年変化 宮城県・政令市・全国との比較



出典：国保データベース

出典：国保データベース

積極的支援、動機付け支援ともに、全国や宮城県と比較して低く、終了率は減少傾向にあります。

健診とレセプトの現状

特定健診結果とレセプトの状況からみた生活習慣病基礎疾患のリスクと医療機関受診状況（平成 26 年度）



高血圧症、糖尿病、脂質異常症のリスクが高いため、すぐに医療機関受診が必要な検査値にも関わらず、受診・治療をしていない人がいます。

保健事業

平成 28～29 年度に予定している保健事業は、下記のとおりです。

- **特定健康診査・受診勧奨**
生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定健康診査の受診率向上に取り組みます。
- **特定保健指導・利用勧奨**
メタボリックシンドローム該当者を減少させるため、特定保健指導終了率向上に取り組みます。
- **検査値高値者の医療機関受診勧奨**
生活習慣病の重症化を予防するため、特定健診の結果、早期に医療機関への受診が必要な検査値の者について、医療機関への受診勧奨を行います。
- **市民健診助成**
被保険者の健康の保持増進を図るため、市で実施する市民健診に係る自己負担額の一部又は全部を助成します。
- **健康情報の発信**
被保険者の健康意識の向上を図るため、様々な機会を利用して、健康情報を発信します。
- **医療費通知**
- **ジェネリック通知**